

|      |        |        |                                                          |      |      |     |      |
|------|--------|--------|----------------------------------------------------------|------|------|-----|------|
| 科目名  | 警察政策論  |        |                                                          |      |      |     |      |
| 英語科目 |        | ナンバリング | (https://syllabus.kyoto-su.ac.jp/syllabus_search/#n) を参照 |      |      |     |      |
| 開講期  | 秋学期    | 開講学部等  | 法学部                                                      | 配当年次 | 2 年次 | 単位数 | 2 単位 |
| 教員名  | 浦中 千佳央 |        |                                                          |      |      |     |      |

#### 授業概要／Course outline

実証的な取り組みを例に挙げつつ、地域における治安上の安心・安全をいかに実現するかという地域政策の観点、および、テロ対策のような国際的な治安上の安心・安全をいかに実現するかという、国際政策の両面から講義する。

現在、私たちの社会は「オレオレ詐欺」、「性犯罪」など「身近な安心・安全」が脅かされていること、「国際的なテロ」、「ボーダレスな組織犯罪」など、「国際的な脅威」という大きく分けて2つの脅威にさらされている。これらの脅威に対して警察がどう対処していくのか、そして、「安心・安全」の確保、「テロ対策」をなすために政治がどのように政策を発信し、警察をどう使うのかを分析する。

純粋法学的アプローチはないものの、法学（特に刑事分野）、警察学、社会安全政策論、刑事政策など他分野領域とも重なることを考慮すること。

#### 授業形態、授業方法等／Course form・type

##### 【授業形態】

対面授業

##### 【授業方法】

講義

- ・ICTを活用した授業（形態：遠隔教育（ビデオ・オン・デマンド等））
- オンデマンド授業は、moodleで行う。内容に関する質問はメールで受け付ける。

#### 授業内容・授業計画／Course description・plan

第1回 オリエンテーション

第2回―第8回 警察政策とは何か：1）公共政策・公共治安政策、2）地域警察、コミュニティ・ポリリーシーニング

第9回―第11回 国際協力体制 1）国際テロ対策、2）国際捜査協力機構：インターポール、ユーロポール

第12回―第13回 インターネット上の犯罪対策、テロ対策 デモの鎮圧と人権、スポーツと暴力

第14回 国際比較警察組織論（アメリカ、フランスなど）

★オンデマンド講義 1（30分）警察政策の学び

★オンデマンド講義 2（30分）レポートの好評

★オンデマンド講義 3（30分）まとめ テスト対策

オンデマンド画像の配信時期は確定次第、Moodeleにて掲載

#### 事前・事後学修／Preparation and assignments

第1回―第8回

「事前学習」：公共政策についての理解を深める事。

「事後学習」：公共政策、治安公共政策、社会安全政策などと警察政策を関連させて必要な概念を整理すること。図書館で公共政策に関する文献を閲覧する。

第9回―第11回

「事前学習」：国際的、地域的な機関について調べる事。どこに何があるか世界地図上で示せること。

「事後学習」：講義で覚えた、国際的、地域的機関の名称、役割をきちんと覚えること。

第12回―第13回

「事前学習」：現在までのテロ事件について調べる事。

「事後学習」：機動隊の役割、軍の役割、テロ対策について基本的概念を覚えること。

第14回―第15回

「事前学習」：世界主要国の警察制度・警察政策をあらかじめ調べる事。

「事後学習」：世界主要国の警察政策、治安政策について、その制度、活動主体、特徴を覚えること。

★オンデマンド講義1、2、3

「事前学習」それぞれのテーマに関して、自分でインターネット、文献などで調査すること。

「事後学習」それぞれのテーマに関して、オンデマンドを受けて、ノートに簡単に考えたことまとめる。

## 基本的な準備学習

### 「事前学習」

常日頃からニュースを見たり、新聞・雑誌に目を通して、警察関係の話題に関心を持つこと。また講義前には講義ノートをもODLE上にUPするので目を通すこと。そして講義ノートから重要事項を自分なりに抽出し、図書館等で関係文献を読むこと。

### 「事後学習」

講義を受け、板書されたこと、自分で勉強した事をもう一度整理し、まとめ、自分だけの講義ノートを作成すること。疑問点、興味が湧いたことは図書館等で検索したり、関係教員に質問する事。

特に、図書館で講義中に出てきた重要概念、用語を調べる事。

※事前学習は各授業2時間、事後学習も各授業2時間必要である。上記内容を確認して、しっかりと事前・事後学習を行うこと

## 授業の到達目標／Expected outcome

警察と政策の相互関係を理解することができるようになる。

国家、社会、警察、個人がそれぞれ取り組むべき課題を理解することができる。

## 身につく資質・能力／Competencies to be attained

### ・主体性

### 専門知識・専門技能

#### 【法学部 法律学科】

・法律学・政治学の基礎知識

#### 【法学部 法政策学科】

・法律学・政治学・政策学の基礎知識

## 履修上の注意／Special notes, cautions

指定教科書がないので、新聞・テレビ報道等に留意し、しっかり自分たちで勉強する事。

## 評価方法／Evaluation

第1回講義時に詳しく説明するが、レポート（30%）、定期テスト（70%）で評価する。

## 教 材／Text and materials

### 参考図書：

小林良樹『なぜ、インテリジェンスは必要なのか』（慶応大学出版会 2021年）

小林良樹『犯罪学入門 ガバナンス・社会安全政策のアプローチ』（慶応義塾大学出版会 2019年）

舟橋 左斗子『足立区のコト 足立区は本当にヤバイのか？』（彩流社 2018年）

関西大学社会安全学部『社会安全学入門 理論・政策・実践』（ミネルヴァ書房 2018年）

堀井秀之 奈良由美子『安全・安心と地域マネジメントー東日本大震災の教訓と課題』放送大学教材 2014年

小野正博『警察政策論』（立花書房、2007年）

小宮信夫『NPOによるセミフォーマルな犯罪統制 ボランティア・コミュニティ・コモンズ』（立花書房、2001年）

## 質問や相談の方法／Instructor contact

e-mailなどで受け付け、あるいはオフィスアワーを活用すること